

ダイバーシティ&インクルージョン

Empower Beauty - Empower our people, Beauty of the society

私たちの社会を構成する美しい存在、人々に元気を与え、勇気づけます。

資生堂 ライフクオリティー メーキャップ



資生堂は1956年に戦禍によるやけどを負った人々の心の苦しみを和らげたいと「資生堂スポッツカバー」を発売し、以来60年にわたり肌悩みをカバーする商品の開発やメイク方法開発に取り組んでいます。資生堂ライフクオリティーメーキャップは肌の赤み・青み・濃いシミ、凹凸（傷・やけどあとなど）、がん治療などによる外見上の悩みをカバーするだけでなく、化粧によってお悩みをお持ちの方々の自信や勇気につなげ、自分らしく過ごせるようにサポートしています。

当社の持つ美容技術やノウハウといったリソースを活用し、資生堂ライフクオリティーメーキャップ活動のグローバル展開や化粧品事業の認知度向上を図っていきます。

- 活動の指標(KPI)と実績：資生堂ライフクオリティーメーキャップ 活動展開国/地域
目標：2021年 14か国/地域
実績：2018年 4か国/地域2017年 4か国/地域2016年 4か国/地域
- 活動の指標(KPI)と実績：社員の社会貢献活動参加人数
目標：2022年 2,000名
実績：2018年 757名2017年 1,553名2016年 1,390名

UN Womenとの連携・ジェンダー平等の推進



資生堂は、日本企業として初めてUN Womenと契約をし、日本においてジェンダー平等の推進を約束しています。長期的な事業戦略として若年層向けの接点拡大を図っていることから、2017年より若年層を対象に、身近なジェンダー課題を学び、解決策を社会に提言するジェンダー平等啓発ワークショップを開催しています。2018年にはジェンダー課題の基本を学ぶ専用教材を独自に開発し、2019年は全国33校、約670名の生徒を対象にワークショップを実施しました。

今後もジェンダーギャップ解消に向け、未来を担う若い世代とともに、性別問わず自分らしく能力を発揮できる社会の実現を目指していきます。

- 活動の指標(KPI)と実績：ジェンダー平等啓発人数
目標：2017-2019年 1,500名
実績：2019年 910名2018年 505名2017年 500名（累計：1,915名）

資生堂ライフクオリティービューティーセミナー



日本の社会課題である少子高齢化、老々介護、格差社会、労働人口の減少などを背景に自社の強みである「化粧のちから」を活用し、ダイバースビューティーの考えのもと、あらゆる方々（就活生、社会人、高齢者、障がい者、がん患者含む）に対し持続可能な活動として、地域に根付いた資生堂ライフクオリティーセミナーを開催しています。また、高齢者と接する機会のある方々（医療・介護スタッフ、ボランティアスタッフ、一般の方等）に「化粧療法」を学んでいただき、実務に生かせるよう、「化粧療法」の担い手の育成も行っています。

- 活動の指標(KPI)と実績：資生堂ライフクオリティービューティーセミナー開催件数

目標：2019年 3,300件※

実績：2018年 4,457件2017年 4,705件2016年 4,522件

※ 2019年より実施方針変更

スペシャルコンテンツ

資生堂 ライフクオリティー ビューティーセンター

資生堂ライフクオリティービューティーセミナー

資生堂リスナーズカフェ

資生堂社会福祉事業財団

資生堂 ライフクオリティー メーキャップ

外見上の悩みを抱える全ての方が自分らしく日常を過ごせるように、私たち資生堂はメイクアップでサポートしています。

資生堂 ライフクオリティー メーキャップとは

肌や外見の深い悩みによりなかなか社会へ踏み出せず、日常を生きるために化粧を求める方がいらっしゃいます。たとえば、あざ白斑、がん治療の副作用などによる外見上の変化、傷あと、やけどあとなどの肌の凹凸により、ご自身のクオリティー・オブ・ライフ（生活の質）が低下してしまう場合があります。当社では「資生堂 ライフクオリティー メーキャップ」と称して、これらの悩みをカバーする商品とメイク方法の開発に取り組んでいます。

私たちは、肌や外見の悩みをカバーする化粧には、心を癒し前向きにする力があると信じています。

活動地域

外見上の悩みを抱える方々が世界中で幸せになれる社会を目指し、資生堂 ライフクオリティー メーキャップのグローバル展開を進めています。

- 東京
- 上海
- 香港
- 台湾
- シンガポール

スペシャルコンテンツ



The Power of Makeup

がんになっても、自分らしく生きいきと生活できる社会の実現に向けた活動をサポート。がんになった人はもちろん、がんになっていない人も共に笑顔で過ごすことのできる未来へ。

資生堂 ライフクオリティー ビューティーセンターサイトへ

※資生堂はLAVENDER RINGに参加しています。



パーフェクトカバー ファンデーション

資生堂が開発した「パーフェクトカバー ファンデーション」。青み・赤み・茶色み・治療による強いすみや、肌の凹凸、白斑などをカバーします。パーフェクトカバーは技術開発によって資生堂総合美容サイト「ワタシプラス」でも購入が可能になりました。

パーフェクトカバー商品へ



資生堂 ライフクオリティー ビューティーセンター

資生堂ならではのカバーメイクアップ専門施設。資生堂ライフクオリティービューティーセンターでは、研究開発や広い地域でメイクアップアドバイスをお伝えするために教育も行っています。

[施設のご案内へ](#)



がん患者さんへ 気になる外見上の悩みサポートBOOK

治療の副作用による外見変化へのメイクアップアドバイスを1冊にまとめたもの。

社会復帰へ向けた支援とし、もっと自分らしく暮らしていただけるよう「がん患者さんのための外見ケアBOOK」を発行しています。

[【女性版・男性版】デジタルBOOKへ](#)

※女性版は英訳もご確認いただけます。



医療関係者への情報提供

がん治療の副作用による肌色変化、眉・まつ毛の脱毛で悩む患者さんに、医療関係者が情報提供できるよう、資生堂が実施している外見ケアを案内しています。

[医療関係者の案内へ](#)

※詳細や申込み方法をご確認いただけます。

活動 HISTORY

活動の始まりは1956年。当時、日本では戦禍によってやけどを負った方が多くいらっしゃいました。やけどあとなどのケロイドに悩まれている方々に対して、心の苦しみを少しでも和らげたいと考え、資生堂だからこそできることをしたいという想いから「資生堂スポッツカバー」を発売。その後、光の技術を応用し、あざ・傷あと・やけどあとなど、さまざまな肌の悩みを自然にカバーできる「パーフェクトカバー」を発売、現在の活動に繋がっています。資生堂は創業以来、お客さま一人ひとりの美のお手伝いをするだけでなく、心まで豊かになっていただくことを目指して化粧品の研究・情報開発を続けています。



必要とする方に届けたい

「笑顔になれない」「人に会えない」など 外見上のお悩みをお持ちの方は、女性だけでなく男性にもいらっしゃいます。年齢、性別を問わず、悩みをカバーし自分らしく毎日を過ごしていただくために。

今後も、必要とする方にお届けできるよう、世界中の幅広い世代に向け、資生堂 ライフクオリティー メーキャップ活動を広げ、「化粧のちから」で、一歩前に踏み出していただける方が増えていくことを目指し活動をしていきます。

UN Womenとの連携・ジェンダー平等の推進

UN Womenとの連携

資生堂は日本企業として初めてUN Womenと契約を締結し、日本においてジェンダー平等を推進するリーダーとして活動することを約束しています。

UN Womenとの取り組み

資生堂は、2017年、日本企業として初めてUN Women（ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための国連機関）と契約を締結し、ジェンダー間の格差が根強く残る日本において、ジェンダー平等を推進するリーダーとして活動することを約束しました。今回の契約は、女性の活躍を積極的に推進してきた資生堂と、世界中でジェンダー平等と女性のエンパワメントに取り組むUN Womenの想いが一致したことから実現しました。今後は、UN Womenが推進する「HeForShe」キャンペーンの社内外への浸透に加えて、若年層とともにジェンダー課題の解決策を考えるワークショップを通じて、性別問わず自分で自分の人生を選択し能力を発揮できる社会の実現を目指します。

【関連リンク】資生堂ニュースリリース



HeForSheとは？

HeForSheは、UN Womenによるジェンダー平等のための連帯キャンペーンです。

2014年にスタートし、女性だけでなく男性や世界中の全ての人々が主体的に関わることを目指した取り組みです。

HeForSheの詳細についてはこちら



このキャンペーンでは賛同いただける方の署名を募っています。私たち一人ひとりの想いや行動がジェンダー平等を実現する大きな一歩となります。

資生堂では2017年から全世界の社員にむけて告知活動をスタート。2,230名の社員がこの活動に賛同し、署名しています。

賛同いただける方はHeForSheへの署名にご協力ください。

ジェンダー平等の推進

高校生を対象としたジェンダー平等啓発ワークショップ開催

資生堂は、「ジェンダー平等」を社内外で推進することで、全ての人が輝く社会の実現を目指しています。

なかでも、ジェンダー課題が根強く残る日本社会において、2017年よりUN Womenと連携し、これからの未来を担う若年層を対象とした「ジェンダー平等啓発ワークショップ」を推進しています。

このワークショップは、身近なジェンダー課題を学び、人々が固定概念に縛られず自分らしく生きるためにはどうしたらよいかを議論し、解決策を社会に提言するプログラムです。

2019年10月6日に、UN Womenとの共催で、高校生によるジェンダー課題の解決策を提言するイベントを東京の国連大学で開催しました。今年度は「SDGsの課題をジェンダー平等の観点から考える」をテーマとして、日本全国の高校33校、約670名の学生が本プログラムに参加しました。イベント当日は、厳しい選考を通過した代表校8校が登壇し、ジェンダー課題の問題提起から解決策、そして自分達ができることを提言しました。

すでに課題解決のための活動を実行している学校も多くあり、講評者として出席した行政、民間企業、NPOの方々からは「みなさんの活動に大変感銘を受けた。今後もジェンダー平等推進リーダーとして役割を担ってほしい」と高校生を激励するコメントをいただきました。

ワークショップに参加した高校生からは、「ジェンダー問題について、様々な視点から考えることができた。他校のプレゼンを聴き、私たちに出来ることはまだまだあると思った。」、「様々な講評をもらい今後も活動を継続していくモチベーションになった」、といった頼もしい声が多く聞かれました。

資生堂はこれからも、未来を担う若い世代とともに、ジェンダー平等をはじめとする真のダイバーシティ社会の実現に向けて活動していきます。



参加した高校生たち



高校生による発表の様子



2018年度ワークショップの様子

目標と実績

- ・ 目標：2017-2019年で1,500人に対してジェンダー平等を啓発する
(2019年度10月末時点 実績：910人、累計1,915人)
- ・ 2019年度実績：日本全国33校の高校生を支援

資生堂ライフクオリティービューティーセミナー

本活動は、1949年に高校卒業予定者を対象に、社会人の身だしなみとしての化粧法を知っていただくことを目指し、「整容講座」としてスタートしました。

以来、60年以上にわたり、全てのお客さまに美しくなりたいという想いのもと、様々な対象者や目的に応じてQOL（クオリティー・オブ・ライフ＝生活の質）の維持・向上をサポートするセミナー活動を全国で実施してきました。

2013年7月より、社会人としての身だしなみを学んでいただくセミナーや超高齢社会の抱える課題を「化粧のちから」で解決するサステナブルなセミナー活動を有償で展開しています。また、社会貢献活動として、障がい者施設・学校での身だしなみ講座も実施しています。

現在、主に下記セミナーを全国で展開しています。

セミナー名	対象者	実施場所
ビューティー講座	就活生、社会人（新入社員、企業にお勤めの方、管理職等）	教育機関・一般企業等
いきいき美容教室 1)	元気な高齢者や要介護高齢者	医療機関、介護関連施設、自治体等
化粧療法講座 2)	高齢者と接する機会のある方（医療・介護スタッフ、ボランティアスタッフ、一般の方等）	自社開催
社会貢献身だしなみ講座	障がいをもつ方	障がい者施設・特別支援学校等

- 1) 資生堂の専門スタッフが訪問し、グループで実施する化粧アクティビティ
- 2) 化粧行為を通じて、心身機能の維持向上を目指す化粧療法のスキルを学ぶ講座



ビューティー講座



いきいき美容教室



社会貢献身だしなみ講座

具体的な活動

ビューティー講座

資生堂ジャパンは、学校・企業・医療施設・自治体などから依頼を受け、ビジネスシーンなどにおける身だしなみ講座や地域コミュニケーションにおける美容体感などを実施しています（2018年70,000名ご参加）

就職活動が本格化する学生（以下、就活生）を対象とした美容セミナー「就活前夜祭」を2019年2月16日（土）より全国8都市にて開催し、約1,000名の方にご参加いただきました。

「就活前夜祭」では、「セルフプロデュース力を身につけよう」をテーマに就活生が自分らしさを表現し、自信を持って面接に臨めるように身だしなみの実践をしていただきました。

女性には、「自分プレゼンメイク」と題してテーマに肌をいきいきと見せるスキンケアや、なりたいイメージにあわせたメイクアップ、ヘアスタイリング、笑顔づくりのエクササイズ、
また男性には、「自分を魅力的に見せるセルフプロデュース力」と題して資生堂男性社員を中心とした就職活動体験談などの講演、自分自身の肌を知る肌測定、肌を清潔に明るく見せるスキンケアやベースメイク体感など実習を行っていただきました。



女性対象のセミナー



男性対象のセミナー

<参加者からの声>

女性：

- 今まで自分のメイクに自信が無かったのですが、今回のセミナーを受けて、インターンシップに参加する際、自信を持ってメイクできました
- メイクによって見られる印象が違ふということや、自分にどのようなメイクが合っているのかが分かりました！

男性：

- 社会人の第一印象で特にどこを見られているのか、自分の肌年齢を知ることができ本当にためになりました
- 短期間で就活に対してモチベーションが上がる内容が聴けて、かつ自分に自信を持つきっかけになる内容でよかった

また、就活生に未来に向けての想いや願いを記入するオリジナル絵馬（後日、神社へ奉納）や、就活生への応援メッセージ付きのおみくじなどもご用意し、就活生の笑顔があふれる「就活前夜祭」となりました。

今後も、化粧や美容を通じて、就活生や新入社員の皆さまの今後のご活躍を応援しています。

高齢者に対する取り組み

国内での取り組み

資生堂ジャパンは、医療機関や介護施設、行政自治体などからの依頼により、「いきいき美容教室」を全国で開催し、2018年は、のべ約30,000名を上回る高齢者にご参加いただきました。

2018年9月、愛知県名古屋市で開催された「健康フェア2018（中日新聞主催）」では、地域の高齢女性30名を対象に、「いきいき美容教室」を開催しました。

この教室では、化粧を通じて、きれいになるだけでなく、口や腕の体操なども実施し、心身の健康を維持する秘訣をお伝えしました。開始1時間前から並ぶ方々もおられ、盛り上がりとともに、たくさんの笑顔と元気に出会う教室となりました。

また、「化粧療法」の担い手の養成として、医療・介護従事者、一般の方を対象とした「化粧療法講座」も開催し、2018年は、のべ約1,800名の方に「化粧療法」を学んでいただきました。

熊本県の歯科医院では、「資生堂化粧セラピスト※」資格を有する歯科医師と歯科衛生士が、普段訪問しているグループホームで美容教室を開催し、化粧療法を通じて楽しみながらお口のケアを実践いただきました。「あんなに喜んでもらえて、こちらが元気をもらいました」と歯科衛生士よりお声をいただきました。

※ 弊社独自資格

今後も、化粧・美容を通じて、高齢者の健康長寿のお手伝いさせていただきます。



教室の様子



歯科医師、歯科衛生士による美容教室の様子

社会貢献身だしなみ講座

資生堂ジャパンは、特別支援学校や障がい者就労支援施設からの依頼により、障がいのある方や、児童養護施設の児童対象に「身だしなみ講座」を全国で開催し、毎年約7,000名の方に実施しています。

2018年度は、社会福祉法人日本盲人会連合※からの依頼により、全国15カ所で「見えない・見えにくい方のためのメイクアップセミナー」を開催し、約100名の方にご参加いただきました。

※ 日本盲人会連合は、2019年10月より日本視覚障害者連合へ名称変更。



身だしなみ講座の様子

<参加者からの声>

- 全ての動作が細かく言葉で説明され、失敗しないためのコツについても学ぶことができた

- チップやスポンジなどの道具を使う際には、まず初めに色を付けていない状態で練習する時間が設けられていて良かった
- 利き手でない方の手をどう使えば、はみ出ずにきれいに描けるのかわかった

資生堂では、1984年に点字版美容テキスト、商品識別点字・墨字シール、使用料目安シールといった視覚に障がいのある方をサポートするための美容教材を作成しました。1987年からは年4回美容情報 CD「おしゃれなひととき」を制作し、全国約80カ所の点字図書館に寄贈しています。2002年からは資生堂WEBサイトの「資生堂リスナーズカフェ」では、化粧品の使い方の説明を音声読み上げソフトや、音声でも楽しめる季刊美容情報「おしゃれなひととき」を掲載しています。

今後も、本活動を通じて、障がいのある方の化粧や身だしなみのお手伝いをさせていただきます。

さまざまな女性活躍支援活動

女性研究者・学術支援活動

資生堂では、自然科学分野で指導的研究者を目指す女性への支援や、40年以上にわたる皮膚科領域への助成を通じ、科学界および皮膚科領域の発展に貢献しています。また、美容皮膚研究分野では、当社が設立資金を寄付した医療法人財団花椿会が「南青山皮膚科 スキンナビクリニック」を開設しています。その研究成果は、全ての方のQOL（Quality of Life=生活の質）向上を目指し、新たな化粧品開発や美容医療に役立てられています。この功績が認められ、日本美容皮膚科学会からも表彰されています。

実績は「社会データ」をご覧ください。

子育て支援

資生堂では、社員への「仕事」と「育児」両立支援にとどまらず、育児期の女性の多様な悩みについて社会全体で共有し応えるための取り組みを行っています。

事業所内保育所の運営受託を通じて子どもたちや働く親たちに寄り添う「KODOMOLOGY」

資生堂は、「人々が幸せになるサステナブルな社会づくり」の一環として、企業が持つ事業所内保育所の運営受託を柱にした「KODOMOLOGY株式会社」を2017年に設立し、保育事業をスタートさせています。

これまでの女性活躍支援の歴史からの学びや長年の化粧品事業などを通じて蓄積してきた様々な知見の活用、社会的価値を持つ多様な外部機関との連携を進め、社会における保育のさらなる価値向上やこれからの時代に必要な子育て文化の創造、さらには、働く人々を取り巻く企業や社会の環境づくりにもステークホルダーと取り組んでいきたいと考えています。

KODOMOLOGY

事業所内保育所「カンガルーム汐留・掛川」

資生堂グループに勤務する子育て社員の「仕事」と「育児」の両立支援の一環として、2003年9月に事業所内保育所「カンガルーム汐留」2017年11月に「カンガルーム掛川」をオープンしました。

“企業が連携して子育て環境を改善していく”という考えに基づき、主旨賛同の近隣企業へ定員枠の一部を開放しています。当施設により「いつでも安心して復職することができる」「子どもが近くにいる安心感」「迎え時間が不要なため、仕事に集中できる」など、働き方の意識改革やワーク・ライフ・バランスの実現へ大きく貢献しています。



■ 資生堂ランニングクラブ

資生堂ランニングクラブは「強く・速く・美しく」をスローガンとして活動しています。

女性アスリートの支援を通じ、“自己に克つ強さ”“早く走る能力や技術”のみならず、“おもてなしの心”を育成し、心・技・体 三拍子整った“資生堂ならではの健康美”を提唱していきます。

クラブに所属する選手を育成するとともに、社会貢献活動として、「社外ランニング教室・講演会」「地域ランニングイベントへの参加」を積極的に推進し、子どもから高齢者までの一般市民ランナーに“走ることの楽しさ”や“健康増進効果”をお伝えしています。

紫外線過敏の難病「色素性乾皮症（XP）患者への支援」

支援概要

日光に当たることができない紫外線過敏の難病「色素性乾皮症（以下XP）」の患者を支援するために、資生堂は日焼け止めの商品寄付や、当社研究員・ビューティーコンサルタント（美容職）による日焼け止め使用法のセミナーを行っています。従業員有志の活動としては、給与積み立てによる募金（資生堂 花椿基金）を用いた患者交流会の開催支援や、患者会のサポートボランティアなどを行っています。高品質な日焼け止めの提供や日焼け止めの使い方に関する美容法を伝えることにより、XP患者の方々が紫外線を気にせず屋外で活動できるようにサポートしています。



目的

当社はマテリアリティ（重要課題）としてEmpower Beauty（人々に元気を与え勇気づける活動）を掲げており、その一つが「お客さまの生活の質（QOL※）向上」です。自社製品によって環境の変化から人の健康・美容を守ることも、本業を通じた重要な社会貢献であると考えています。当社は長年にわたり研究してきた紫外線から肌を守る日焼け止め製品の技術と、効果的な日焼け止め使用法に関する知見があり、多彩な高品質の日焼け止め製品を販売しています。紫外線過敏の難病患者への支援は、こうした当社の強みを活かして社会課題の解決に貢献できる活動です。

※ QOL: Quality of life（生活の質）の略語

色素性乾皮症（XP）について

XPは、紫外線を浴びた部分が真っ赤に腫れるなど激しい日焼け反応が生じ、一般の方と比べ高い確率で皮膚がんを発症する難病です。XPには複数のタイプがあり症状や程度は様々ですが、遺伝子の損傷を修復する機能がうまく働かないために、強い紫外線によって神経の症状（歩行障がい・難聴・知的障がいなど）が進行する場合があります。現在、根本的な治療法は確立されておらず、対処法は厳重な遮光（紫外線を遮ること）しかありません。患者の方々が外出する時は、肌に日焼け止めを塗った上に紫外線防御服を着る必要があり、屋内でも窓ガラスや電球などに紫外線カットフィルムを貼って遮光しています。日本国内の患者数は推定500名といわれています。

支援実績

項目	内容	2018年の実績
日焼け止めの商品寄付	資生堂グループの各種日焼け止め商品（アネッサ・ドゥーエ・サンメディック・アベンヌ等）を全国色素性乾皮症（XP）連絡会※へ提供しました。	XP患者92名に、日焼け止め商品22種1,821個を寄付
従業員による寄付	従業員の募金（資生堂 花椿基金）を活用し、患者交流会の開催支援や紫外線防護服の購入等を支援しています。	2,164,977円
全国色素性乾皮症（XP）連絡会※のサポート活動に関わった従業員数	(1) 日焼け止め使用法のセミナー：当社の研究員やビューティーコンサルタントが患者やご家族を対象に、日焼け止めの最新知見や、正しい塗り方・落とし方の実習や個別相談を行っています。 (2) 患者会のサポート：患者同士のネットワーク構築を目的とした交流会を開催する際に、従業員が保育ボランティアを務めています。	従業員18名
XPの啓発リーフレットの配布数	XPという難病への認知を高めるために、患者会のリーフレット作成・配布を支援しています。	・患者会リーフレット約120部配布 ・第3回XP全国大会報告冊子400部制作
その他 注目TOPICS	2019年2月には、社会の課題解決のために自社の経営資源を有機的・持続的に活用した社会貢献活動として、公益社団法人日本フィランソロピー協会より、企業フィランソロピー賞「輝く笑顔とともに賞」を受賞しました。	

※ 全国色素性乾皮症（XP）連絡会：日本に3つあるXP患者会（大阪のXPふれっくるの会、神戸のXPつくしんぼの会、東京のXPひまわりの会）による連絡会。XP患者と家族のより充実した日々の実現を目指して活動している。

患者さん・ご家族の声

XP患者のご家族からは、「日焼け止め商品は1年を通じて、XPの子どもたちの敏感な肌を紫外線や皮ふがんの発病から守ってくれるとても重要な必需品です。御社の商品を安心して子どもたちに使用させていただけますこと、心より感謝申し上げます。皆さまからの温かいご支援に感謝し、子どもたちとの日々を大切に過ごしてまいります」との感謝の声をいただきました。当社はこれからもお客さまの生活の質（QOL）向上を支援していきます。